

No.	元番	部	章	頁	意見（原文）	区の方考え方
19	113	1	2	27	p27の後期のふたつめの○に「区立出石つばさの家の実施設計が完了し、解体工事に着手しました」とあるが、知らない人がこれを読めば「設計して解体したのか」と怪訝に思うはず。「既存建物の解体工事に着手しました」としていただきたい。	「令和4(2022)年度、区立出石つばさの家の実施設計が完了し、既存建物の解体工事に着手しました。」に修正しました。
20	114	1	2	28	p28の前期のよっつめの○に「発達支援ガイドブック」とあるが、正しくは「子ども発達支援ガイドブック」。さらに言えば「品川区子ども発達支援ガイドブック」。略さずに書いていただきたい。	「品川区子ども発達支援ガイドブック」に修正しました。
21	115	1	2	28	p28の中期のみっつめの○に「利用者負担額の無償化しました」とあるが、正しくは「利用者負担額を無償化しました」ではないか。訂正していただきたい。	「令和元(2019)年度、3歳から5歳児までの障害児通所支援利用者負担額を無償化しました。」に修正しました。
22	117	1	2	37	p37-38の【在宅障害者調査】のグラフで、「n=1, 713」とあるが、628の間違いではないか。実態調査報告書の詳細版のp28では同じ棒グラフでn=628になっており、報告書が正しいはず。修正しましたしていただきたい。	p37-38の【在宅障害者調査】のグラフの数値をn=628に修正しました。
23	118	1	2	37	p37の最終行の「～との回答はありませんでした」は、「～の回答はありませんでした」ではないか。	「～の回答はありませんでした。」に修正しました。
24	119	1	2	40	p40の本文上から2行目の「週3回以上」は『週3回以上』の誤りではないか。一重カッコを二重カッコに直していただきたい。	二重カッコで『週3回以上』を括りました。
25	120	1	2	47	p47で「令和元(2019)年度調査と比較すると、在宅障害者では、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」以外の困りごとの項目はいずれも回答比率が下がっており」とあるが、「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」も前回調査より回答比率が上がっている。本文と棒グラフのどちらが正しいのか。確認して修正しましたしていただきたい。	棒グラフのデータを、本文に「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」を追加しました。
26	121	2	4	64	p64の枠内の「児者」は単語としてわかりにくい。	「障害のある人、障害のある子ども」に修正しました。
27	122	2	4	67	p67の枠内の「利用したいサービスが利用できない」が前回調査25.4%で、今回調査が24.3%。1.1%しか減っていないのに「前回調査より改善している結果」と言えるのか。区の見解は。	「ゆるやかに改善している結果」に修正しました。
28	125	2	4	69	p69の「施設に入所している人116名を対象としたアンケート」とあるが、間違い。対象は277人で、有効回収数が116であった。施設入所者数を少なく示そうとしているようで作為的。単なるミスであるならば「施設に入所している人277人を対象としたアンケートの有効回収数は116であり、その内訳は本人が24人、施設職員など本人以外が91人、不明が1人でした」と直していただきたい。	アンケート調査結果の囲み1段落目を、「施設に入所している277人を対象としたアンケートの有効回収数は116人であり、その内訳は、本人が24人、施設職員など本人以外が91人、不明が1人でした。」に修正しました。
29	126	2	4	70	p70の枠内の3段落目に「前回調査と比較すると、一般就労をしている人の割合が増加し、福祉的就労の割合は減少傾向にあります」とあるが、1段落目には「福祉的就労をしている」が2.6%増加しているように書かれてあり、矛盾が生じている。全体ではなく「就労している人だけを見ると、一般就労をしている人の割合が増加し、福祉的就労の割合は減少傾向にあります」ということか。わかりにくいので明確にいただきたい。	アンケート調査結果の囲み3段落目を、「前回調査と比較すると、一般就労をしている人、福祉的就労をしている人の割合は共に増加しています。」に修正しました。
30	127	2	4	70	p70の本文1段落目では、障害者の就労参加増加は法定雇用率の引き上げが要因のように書かれている。もう少し書き方に工夫が必要ではないか。区の見解は。	本文1段落目に「就労支援の充実等にもない」を追加しました。
31	128	2	4	71	p71の本文最後の段落の「避難場所・避難方法等を事前確認や」がわかりにくい。「避難場所・避難方法等の事前確認や」の誤りではないか。修正しましたしていただきたい。	「避難場所・避難方法等の事前確認」に修正しました。
32	129	3	1	78	p79の上の枠内の「入院3か月後時点、入院後6か月時点」は正しくは「入院後3か月時点、入院後6か月時点」ではないか。	成果目標2【参考：成果目標（都道府県）】 「入院後3か月時点、入院後6か月時点」に修正しました。
33	130	3	1	80	p81下の「また、「地域生活支援拠点検討会」での～取り組みます」の一文がわかりにくい。「検討会で～取り組みます」なのか。工夫してほしい。	成果目標3 区の成果目標の本文を以下のとおり修正しました。 また、「地域生活支援拠点検討会」では、地域生活支援拠点の主な機能である「①～⑤」のより一層の充実を図るため、引き続き、地域の障害福祉サービス事業所等との相談・情報提供体制の整備や地域体験の場の確保等に取り組みます。
34	131	3	1	81	p82のよっつめの枠内で「強度行動障害のある人」になっている。「強度行動障害のある人」ではないか。修正しましたしていただきたい。	「強度行動障害のある人」に修正しました。
35	133	3	1	87	p88の枠内の「協議会」は「地域自立支援協議会」か。品川区には他にも協議会がある。きちんと区別するためにも正式名称で示していただきたい。	「地域自立支援協議会」の表記に修正しました。
36	134	3	1	89	p90の成果目標の表の「有（延31人）」「有（延100人）」はどちらも3年間の人数なのか。事業所数は「2事業所」は単年度で、「延10事業所」は3年間の合計か。期間が違えば比較できない。どちらも単年度にするか、3年間の計画期間の合計にするかしてそろえていただきたい。	数値の比較がしやすいように、P90の成果目標の表の下に注記を追加しました。
37	135	3	2	93	p95の就労選択支援は、まだ始まっていない旨の説明書きが必要ではないか。	P95の「就労選択支援」に「就労選択支援は令和7(2025)年10月からサービス開始の予定です。」と説明書きを追加しました。 P96のサービス実績および見込量の欄外に※印で同様に説明書きを追加しました。

No.	元番	部	章	頁	意見（原文）	区の考え方
38	136	3	2	94	p96の就労選択支援の見込量について。①千代田区、新宿区、台東区をはじめ多くの区で見込量を出している。品川区ではなぜ見込量が出せないのか。②中央区の素案では「本区においては、サービスの内容が具体化され次第、数値目標を設定します」と記載されている。品川区でも理由があって載せられないなら、その理由をきちんと明記すべきでは。それぞれ区の見解は。	就労選択支援の見込量(令和7年度、令和8年度)を追加しました。
39	139	3	2	106	p108の下の枠内の「社会生活を支えるため」は「社会生活を支えるため」ではないか。修正しましたしていただきたい。	「障害のある人の日常生活や社会生活を支えるため」に修正しました。
40	140	3	3	108	p110の最後の段落の「利用できる障害福祉サービスや課題解決のためアプローチ方法も変わるため」は、「～や課題解決のためアプローチ方法も変わるため」ではないか。修正しましたしていただきたい。	「課題解決のためアプローチ方法も変わるため」に修正しました。
41	141	3	3	111	p113の上からよつめの段落の「アンケート調査結果によれば、19人の施設入所者が地域移行を希望していることを確認できました」は、「アンケート調査結果により、～確認できました」ではないか。	「地域生活移行に関するアンケート調査結果により、19人の施設入所者が地域移行を希望していることを確認できました。」に修正しました。
42	142	3	3	115	p117の「保健、医療、福祉、就労、居住等が包括的に支援する」は「～を包括的に支援する」ではないか。修正しましたしていただきたい。	「保健、医療、福祉、就労、居住等を包括的に支援する精神障害にも対応した地域包括ケアの推進に取り組んでいきます。」に修正しました。
43	143	3	3	119	p121のふたつめの項目の「看護師を配置しています」は、今後の「施策・取組の内容」の書き方として適切か。	看護師を配置「してまいります」に修正しました。
44	144	3	3	121	p123の本文3段落めの「乳幼児期から在学時、成人期までの各ライフステージを通じた～、の一文にはカッコとじがない。修正しましたしていただきたい。	カッコなしに修正しました。
45	145	3	3	126	p128の本文最後の段落の「就労継続支援B事業所」は「就労継続支援B型事業所」ではないか。	「就労継続支援B型事業所」に修正しました。
46	146	3	3	127	p129のいちばん下の項目の「受入」は「受入れ」のことか。両方の表記が混在している。	事業名等の固有名詞は「受入」、文中では「受け入れ」に表記を統一しました。
47	147	3	3	135	p136で障害の「あるなし」「ありなし」が混在している。全体でどちらかに統一していただきたい。	「あるなし」に表記を統一しました。
48	148	3	3	135	p136の本文最後の段落の「育ちの支援に協力等する」は「育ちの支援等に協力する」ではないか。	保育園・児童センター等での障害のある子どもの「育ちの支援等に協力する」に修正しました。
49	154	-	-	-	前期計画の「わかりやすい版」が、せっかく作っていただいているのもなんだが、いまひとつわかりやすくなかった。世田谷区版が良かったので、わかりやすい版についても他区のもの参考とし、計画策定委員会できちんと協議していただきたいと思うが、これについての区の考え方は。	ご意見を踏まえ、「わかりやすい版」については、分かりやすい表現に努めてまいります。
50	158	3	3	119	p121の「メンタルチームサポート事業」とは何か。下にスペースが空いているので、コラムで示していただきたい。	資料編の用語解説に「病状不安定な精神疾患患者、措置入院者等に対し、医療機関・福祉関係機関等と連携し、医療の継続支援、病状安定への支援を多職種チームで包括的に行うことで、病状悪化と再発を防止し、安定して地域で暮らし続けられるよう支援する事業。」と掲載しました。
51	159	-	-	-	品川区には「精神障害者地域生活サポート24事業」や「精神障害者交流スペース『憩いの場』」「精神障害者地域生活安定化支援事業『ソル』」などの独自事業があるのに、計画本編ではまったく触れられていない。「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の体制づくりにも関わってくる事業ではないかと思うが。前期の計画でも同様だったが、なぜ本編で言及しないのか。	今期の主要テーマ「施策の柱3 障害福祉サービス等の充実(4)精神障害に対応した地域包括ケアの推進」に当該3事業を追加しました。
52	160	-	-	-	①「知的障害者地域生活サポート24事業」や「発達障害・思春期サポート事業『ら・るーと』」など、区がお金を出している独自事業があるのに、資料編に載るだけで、本編でまったく触れないのはなぜか。②区もあまりこれらの事業を広報しない。使ってほしくないのか、知られたくないのかと思ってしまう。区ホームページで調べても数行のみの記載で、あとは要綱が載っているのみ。これらの事業の今後の周知・広報についての区の考え方は。	今期の主要テーマ「施策の柱1 相談支援の充実(2)障害特性に応じた専門相談の充実」の3つ目の箱 発達障害・思春期サポート事業から、発達障害・思春期サポート事業「ら・るーと」に修正しました。
53	178	3	3	136	スーパーバイズ、コンサルテーション機能とはどういう意味でしょうか。	資料編の用語解説に掲載しました。
54	187	2	4	72	・p72の「施策の方向性」で、本文では「雇用・就業への支援」が「雇用・就業の支援」になっているなど、本文と異なるものが3カ所ある。どちらかに揃えていただきたい。 ・p72の基本指針の最後に「～」が入るのではないかと。p57には「～」が入っている。確認してどちらかに揃えていただきたい。	・「雇用就業の支援」に表記を統一。 ・P72施策体系図を修正しました。
55	235	3	3	101	p103の障害児入所支援では、過去3年間の実績が出ていない。知人のお子さんが入所しているのになぜか。①「令和5年度までの区の実績なし」との注意書きがあるが、品川区から障害児は一人も入所していないということか。②入所児童がいるなら人数を記載していただきたい。	表下の注記を「都が受給証を発行しているため、区は令和5年度以前の実績を把握しておりません。」に修正しました。
56	245	1	2	50	p50下のグラフは【障害児調査】ではなく【施設入所者】ではないか。確認していただきたい。	施設入所者に修正しました。
57	116	1	2	30	p30「施策の柱5」の中期・後期のふたつめの○の移動支援従事者養成研修について。①これは委託なのか。②委託であればどこの法人に委託しているのか。③年に何回実施したのか。④正しくは「移動支援従事者養成研修」ではないか。	①②移動支援従業者研修は、指定管理業務として社会福祉法人品川総合福祉センターが運営しています。 ③品川区立心身障害者福祉会館において、社会福祉法人品川総合福祉センターにより年1回実施しております。令和6年度から年2回実施の予定です。 ④「移動支援従業者養成研」に修正しました。